



第143号  
平成31年3月15日  
発行：公益社団法人  
日野市シルバー  
人材センター  
編集：広報委員会  
日野市日野本町2-4-7  
Tel: 042-581-8171



会員数(人)	
平成31年1月31日	
計	1,697
男性	1,205
女性	492
1月入会者	11 (男9、女2)
1月退会者	15 (男5、女10)

# 各委員会の活動と取り組み —平成30年度活動実績と31年度取り組み

## 総務委員会

基本方針Ⅱ会員1700名の重さを両肩に感じ会員のために施策を推進します。

### 平成30年度実績

(1)就業選考の新運用方法を策定し、後期地域班会議にて説明を行いポイント制導入の理解をお願いし、新運用を開始した。

(2)表彰規定を改正、顕著な功労の具体例を要綱として策定した。新たな要綱で会員の皆様から「この人こそ」を推薦いただくよう「さわやか」紙上でお願いした。

### 平成31年度の取り組み

(1)民間職場の就業期限導入の準備

就業選考の新運用方法が今年1月から導入されたことにより、民間職場への就業期限を導入す

る準備を行います。具体的には、  
①発注者への説明、②就業者への説明、③規程類の改正など。  
(2)新入会員の研修テキストの改定

新選考基準を含め、その他変更内容をテキストに織り込む。

(3)規程・要綱等の整備  
常に変化する社会情勢に連動するシルバー人材センター(SC)とするため、規程・要綱をタイムリーに整備する。

## 事業委員会

### 平成31年度の取り組み

(1)月次実績、就業応募状況の分析

就業応募状況確認や継続募集の結果の追跡調査を行う。会員就業募集伝達方法の改善・検討。

(2)新規事業開拓に向けた取り

### 組み

会員に対し「さわやか」「班会議」等で新規事業提案を求める。他SCを参考にし、調査等を行う。

(3)会員の所有する・資格・技能・技術を活用した新規事業の検討

様々な有資格会員毎のグループ懇談会を開催し、それを活用した新規事業について意見交換。

事業立ち上げについて検討する。

(4)職群事業の運営支援  
職群班支援、清掃グループ就業者交流会を開催し、会員に休業時サポート体制の理解と協力を求める。清掃紹介ガイドブックを作成する。職群班間の協力が大切であり、対立を避ける対話を設定する。

(5)職場グループ交流会開催

明るい不安のない働き易い就業の場にするため、職場グループの交流会を開催する。交流会内容は、就業契約内容確認、就業仲間とのコミュニケーションは良好で

2面へ続く

再生紙を使用しています

## 日野市シルバー人材センター 設立40周年記念式典

●4月20日(土) 14:00~16:00 / 日野市民会館大ホール  
申し込み受付は、4月5日まで。(折込でタイムスケジュールをご案内しています)

### [第1部 式典]

- 挨拶 有賀会長、大坪日野市長(名誉会長)、西野日野市議会議長ほか
- 感謝状・記念品 ①主要な優良取引先  
②10年以上在籍の会員(30周年の受賞者を除く)

### [第2部 記念講演]

読売新聞社特別編集委員 橋本五郎氏 「シルバー人材センターに期待すること」

※全会員に記念品を贈呈。式典への参加者に真空ステンレスボトルを贈呈。

配分金の支払い日は2面です

1面から

あるか、就業先との往復の安全確認、会員と事務局との関係は良好に保たれているか等について意見交換する。

## 地域委員会

### 平成30年度実績

#### (1) 地域班の運営

① 地域班会議の「要回答」質問事項を各委員会に割り振り、回答を求めて地域班と各委員会のつながりを深めた。

② 班会議を会員の情報交換と親睦の場とした。

#### (2) 社会奉仕活動

① 班単位で清掃活動を拡大。

② 小(17校)・中学校(8校)「朝のあいさつ運動」に84人が登録。

③ スクールガードボランティアで新町・栄町班が表彰された。

④ 高齢者見守り支援「気にかかけ運動」の啓蒙。「さわやか」で呼びかけ、事例の紹介を行った。

### 平成31年度の取り組み

基本方針Ⅱ 高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに地域社会の活性化に貢献するために、その中核である地域班の活動をサポートする。

#### (1) 地域組織の運営

① 地域班及びブロックが担う役割の再構築と浸透を行う。

② 地域班会議はセンターの現況報告を行う重要な場であり、班員の親睦の場とする。

#### (2) 社会奉仕活動

① クリーン作戦・一斉清掃を通じ、地域社会の活性化に貢献。

② 市内全小・中学校の「朝のあいさつ運動」に参加し、SCを広くPRする。

③ スクールガードボランティアに参加し、学童や生徒の登・下校の見守りを行う。

④ 高齢者見守り支援「気にかかけ運動」。声かけ運動を拡大。

## 女性委員会

平成30年度は市民対象の手作り講習会を3回、女性会員交流会を年1回。交流会の内容は講演や研修を取り込み、また親睦会として仲間作りの場であり、質問にもできる限り対応しています。

女性委員会便りは年3回発行、シルバー人材センターの様子を身近に感じていただくと共に、女性会員の動きも伝えています。

「日野市健康交流事業」は日野市シルバー人材センター女性委員会と日野市老人クラブ連合会と

のコラボレーションです。手作り品講習会の依頼を受け、今年度で4回目です。多くの市民が参加しています。

会員増強対策として女性限定入会案内説明会は年3回、31年度は4回に増やし、更に確実な女性会員増になると思っています。女性に追い風の状況は31年度も吹いてくれるのを期待して、取り組み及び計画は前年度の継続と新たな試み、そしてマンネリ化しないように進めていきたいと思っています。

## 安全管理委員会

### 平成30年度実績

(1) 自転車およびドライバー向けの安全に対する取り組み

① ドライバー講習会(4月12日、飛鳥自動車) 13人参加。

② 自転車講習会(5月17日、飛鳥自動車) 日野警察署主催で27人参加。

(2) 安全推進員(職場リーダー)向け危険予知講習会(6月5日、6日、生活・保健センター) 計66人参加。

(3) 作業機械の取り扱い講習会(7月)

3面へ続く

## 理事会ニュース

### ★第11回理事会 2月25日

・審議事項Ⅱ 正会員の入会(17人承認、3月1日4人、4月1日13人入会)、

・報告事項Ⅱ 平成30年度事業実績(4~1月分)Ⅱ 契約金額5億5911万円(前年度比4.0%増)

### 「センター行事日程」

● 4月20日(土) 設立40周年記念式典Ⅱ 日野市民会館

● 4月21日(日) 多摩川・浅川クリーン作戦Ⅱ 各ブロック

### 「お知らせ」

女性委員会主催の第12回女性限定入会案内説明会が3月22日(金)午前、センター会議室で開催されます。除草班の女性会員による就業体験談や参加者とのフリートークなどを予定。なお、この説明会には愛知県の豊橋市SCの職員1名が視察のため来訪します。

## 共働・共助

### 配分金の支払日

3月20日(水)  
4月19日(金)  
5月20日(月)  
6月20日(水)  
7月19日(金)  
8月20日(火)

2面から

17日・18日、センター会議室) 計51人参加。

②チエンソー実技(8月6日、リサイクル事務所) 23人参加。

(4)会員の健康・体力の管理

会員向け体力測定(9月12日・20日、生活・保健センター) 計67人参加。

(5)就業現場への安全巡回

前期(6月・7月)と後期(12月・1月・2月)に実施 計224カ所巡回。

(6)最近5年間の当SC事故件数(障害、賠償を含む)

年度(平成)	件数
26	13
27	11
28	8
29	14
30 31/2 現在	4

平成31年度も「安全はすべてに優先する」をモットーに活動してまいります。

広報委員会

広報委員会は昨年6月、日野市SCの全体像が1冊でわかる対外向け広報冊子『シルバー知っ得!ガイド』を刊行。これまでに市の商工会加盟の1250社に送付して当SCの存在を広くアピールしたほか、「日野市産業まつり」など

でも来場者に精力的に配布し、同冊子は対外広報の新しいツールとして活用されています。

ただ、SCを取り巻く社会状況はいま大きく変わりつつあります。人口減少と少子高齢化で日本は働き手不足が深刻化しており、労働力としてシルバー世代への期待が高まる一方で、企業の定年延長など同世代の奪い合いも激化しており、SCの会員増強は厳しい局面を迎えています。

当SC設立40周年を迎えた今年、広報委員会は対外広報の強化が一層重要だと考えています。現在、センターの新しいPRとして市役所内のTVモニターを活用したり、郵便局ATMに当SCの名入り封筒を備え付けるなどのアイデアが実現に向けて取り組まれています。広報委員会はこうした試みを強く後押しするほか、対外広報強化へさらに知恵を絞っていく所存です。

東京マラソン祭り

ボランティア活動で参加

平成26年初参加以来、6年連続参加できたことうれしく思っています。当日(3/3)は、生憎

の雨、コンディションの悪いなか沿道の観客、イベント会場参加者並びにボランティア関係者が熱心に応援し、活動していました。今回の活動内容は、昨年に引き続きパフォーマンス会場付近の観客の整理、マラソンランナーの応援などで朝9時半から約2時間の活動。ランナー、イベントと観客という三様の姿を横目に見ながら祭りの醍醐味に感動しました。



ボランティア参加者

女性委員会市民へのPR

手編みふわもこスリッパ

まだまだ朝夕は寒い毎日です。こんな時期には足元の暖かいふわもこもこのスリッパはうれしものです。タイムリーな企画として、女性委員会初の試み「ふわ

もこスリッパ」講習会が、2月27日センター会議室で催されました。



ふわもこスリッパ講習会

募集枠いっぱい20人の参加者は、講師の女性(委)の皆さんと和気あいあいの製作のひとときを過ごし、きれいでやわらかい「ふわもこ」のスリッパを手にして、大喜びでした。

事務局岡主任からSCのPRと3月22日に行われる女性限定入会説明会への参加呼びかけがあり、なごやかに散会となりました。

多摩川・浅川クリーン作戦に参加しましょう

★4月21日(日)9時半～  
★集合||A.C.E.G.H.I!  
Jの各ブロック



# 今年の安全標語 入選作 応募は27点

今年の安全標語応募数は前回より少ない27点。応募作品は安全管理委員会で選考、次の作品6点が入選作に選ばれました。

## 最優秀作 1点

★あわてるな 先ずは仕事の確認を  
田村 隆道 (新町)

## 優秀作 5点

★慣れた頃 基本忘れて 冷や汗三斗  
鷹尾 克己 (日野台1)

★安全作業は シルバーの誇り  
塚本 英雄 (落川・百草)

★もう一度 足元確認 ルールを守ろう  
矢五田 要子 (多摩平2)

★バランスを 鍛えて減らす 転倒防止  
佐藤 豊裕 (南が丘・南平台)

★小さなツマツキ 大きなケガに 転んで気が付く体力年齢  
金村 和雄 (日野2)

# シルバーいきいき祭り& リサイクルフェア

(続報)

第4回いきいき祭り&リサイクルフェアは、5月25日(土)午前10時から午後2時まで。

目玉は、昨年大好評の「はずれなしのスピードくじ」。豪華賞品として、JTB旅行券2本(1万円券)、デイズニードランド入場券(ペア券)、アマゾンギフト券5本(3千円券)、セブン&アイ共通商品券10本(千円券)、お風呂の王様入浴チケット、お米2kg、ビール6本セットに加え、リサイクル商品割引券(100%・50%OFF券)、末等はトートバッグです。

模擬店も定番の焼きそば、焼き鳥、どら焼き、わたあめ、カレーホットサンド、ホットドッグなど多種豊富に。パターゴルフ、スパーボールすくいに加えて体験型の「脳トレゲーム」もあり、子供から大人まで楽しめる企画となっています。同時開催の「リサイクルフェア」では、家具・家電品・手芸品等を多数展示。スピードくじでリサイクルOFF券が当たれば、思わぬ高額商品を手に入れるチャンスもあります。

また、リサイクル事務所は、日野市内のリサイクル運動の発信基地として『情報と実践』の啓蒙活動を進めています。今回のフェアのコンセプトのひとつでもある「ゴミをなるべく出さないリユース食器(注1)の使用」を掲げています。事務所自身の存在理由をかけた情報発信です。市民からの回収物を点検・再生して売るだけでなく、リユース(再利用)の大切さを今後、も強気に推進していきます。

## (注1)リユース食器って何？

主にイベントで使用されるもので、1回使っただけで捨てられてしまいう容器の代わりに使います。繰り返し洗って使用できる食器のことです。

## 会員手作り作品 展示・販売コーナー

個人出店者募集します

使用スペース 机半分

約70cm x 90cm

出店費用 販売の場合は売上金の10%

申込締切 4月25日(木)

詳細は事務局まで電話で問い合わせください。(担当 堀)

## 朝のあいさつ運動

3月1日、市内小中学校の「朝のあいさつ運動」に参加。各学校の校門前では先生方、地域のボランティアの皆さんと共に声かけ。児童とのハイタッチなど明るい雰囲気漂っていました。



仲田小校門前で

## 健康だより

「食事の時にむせませんか？」

加齢によりのだや口周辺の筋肉が衰えて、飲み込む力が弱くなると「せき込み」「むせ」がでてきます。それらが日常的になると肺炎をおこしたり、栄養がとれなくなることがあります。元気で過ごすためには飲み込む力を維持することが大切です。口の体操をしたり、おしゃべりしたり、歌を歌うのもおすすめです。気になる方は健康課にご相談してください。(日野市健康課)